

# 森のおくりもの2月



ベニマシコ♀♂(アトリ科)



冬の森を歩いていると、時折目を奪われるような美男美女のカップルに出会うことがあります。あまりじろじろ見るのは失礼かな、と思いながらもついカメラを向けてしまいます。嫌がって逃げ出してしまうカップルもいれば、お構いなしに夢中で食事を楽しんでいる子たちもいます・・・

これ、全部野鳥の話です。

季節が冬になり、観察の森には様々な冬鳥が訪れています。上の写真はベニマシコ。ペアリングが済んでいるのか分かりませんが、きっと仲良しなのでしょう。その後もたびたび同じ場所で見ることが出来ました。木々が葉を落とすこの時期、これまで以上に野鳥を見る機会が増えています。冒頭にも書いたような素敵なカップルに出会えるのも冬の森の楽しみのひとつです。

恋路を邪魔するつもりはありませんが、馬に蹴られない程度にあたたかく見守っていきたいと思います。

【写真・文 近藤晋也】

## 森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

### 『上善若水』（じょうぜんはみずのごとし）

この冬は非常に寒く、これまで観測された仙台の最低気温は氷点下7.6度。川の水も凍るほどの冷え込みで、センターに供給されている水道の本管が凍結してしまい、水が出なくなりました。運良く2週間後に寒さが緩み、気温が高くなったので復旧しましたが、その間は川から水を汲んだり他の施設から水を運んだりして凌ぎました。蛇口をひねればすぐにきれいな水が出ることがどんなに素晴らしいことか、水のありがたさを改めて実感しました。

水に関する言葉に、新潟の美味しい純米酒の銘柄で馴染みのある『上善如水』が浮かんだので調べると、古代中国の哲学者老子の言葉で、原文は“上善若水”だそうです。哲学書『老子』の第八章に「上善は水のごとし、水はよく万物を利して争わず、衆人のにくむ所におる。故に道にちかし。」という一節があります。「人として最も理想的なのは水のような生き方である。水は全てに恵みを与えているが、けっして偉ぶらず謙虚でいて、他者と競うことや争うことなく、人が嫌がる低い地位にいる、これこそが理想の姿である。」といいます。水のすごさを人生に重ね見たこの言葉の背景には、国同士の争いが絶えず、人よりも上に行こうと躍起になっていた時代に平和な世の中への願いが込められているように思いましたが、現代でもリーダーなどに大切な心構えとして通じると感じました。

水は気体・液体・固体と変幻自在に姿を変えて存在し、虹や氷の結晶などの芸術的な現象、滝や湖沼などの風景は心を潤してくれます。大きな岩に穴を開けたり地形を変える力があり、ときには猛威を振るい災害を起こします。

もうすぐ震災から10年になりますが、あの時の様々な不便や自然の脅威を思い出し、油断せず災害に備えることと恵まれている便利な生活に感謝することを忘れてはならないといわれた気がします。 【レンジャー：新田隆一】



## 2月の生物ごよみ

毎年2月になると観察の森では、樹木の一番手マンサクと草本の一番手セリバオウレンが咲きはじめます。それぞれ早春を告げる植物で、この花たちが咲き始めると春の訪れを感じます。今回は過去10年間のマンサクとセリバオウレンの初開花日を調べてみました。

### マンサクの開花状況

(過去10年間のデータのまとめ)

早春の山では一番早く花を咲かせ、春の訪れを告げる木です。名前の由来は、黄色の花が枝いっぱい咲くので『豊年満作』から来たという説と『まず咲く』がなまったという説があります。観察の森では、みはらしの道とセンター前木道付近で初見が確認されます。



#### 開花確認日

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
マンサク	2月16日	2月23日	2月15日	2月26日	2月20日	2月14日	2月16日	2月21日	2月6日	2月8日

### セリバオウレンの開花状況

葉がセリに似ていることからその名がつけました。観察の森では毎年、であいの道で早咲きの株が咲きますが、本格的な見頃は3月初めになります。10cmほどの小さな株で白い花を3つ程つけます。花には雄花と両性花があってよくみるとすぐ区別がつけます。



#### 開花確認日

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
セリバオウレン	2月10日	2月7日	2月15日	2月4日	2月17日	2月14日	2月14日	2月25日	2月22日	2月24日

【レンジャー：齋 正宏】

# 森の「おとしもの」



## 「雪の上のおとしもの」

全国的に雪の多い冬になりました。センターの周りも何度か除雪をしたり施設の水道が凍りついて水が出なかったりと大変でした。

でも、雪だからこそその出逢いがあります。右の写真はニホンノウサギの足跡、姿は滅多に見ることはできませんが、ウサギがこの森のどこかで暮らしていると解るとほっこりした気持ちになります。下の写真、中央下から上に向かって森の奥に消えていく足跡は、キツネだと思えます。すぐ右手にウサギの足跡が…いったいこの先で何が起きてるんだろう！そんな想像にドキドキします。 【レンジャー：木田秀幸】



# 森は糸



# 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって  
森として生きているんですね (\*\_\*)

このあたりが北限らしいヤマコウバシは、関東以西に見られるクスノキ科クロモジ属の樹木ですが、クスノキと違って落葉樹です。ただ、常緑の名残があるのか黄葉の後も芽生えが始まるまで葉を落とさない特徴があり、巷では「受験のお守り」として知られているそうです。また、クロモジ属のオオバクロモジと同じように、枝を折ったり葉をもんだりするといい香りがします。さて、花も地味なヤマコウバシですが、少し詳しく見て行きましょう。(^^)

ヤマコウバシの冬芽。花芽と葉芽の両方が入っています。雌雄異株ですが日本では雌株しか見られないそうです！！

5月頃

ヤマコウバシの花。中央がめしべでまわりの黄色の部分は仮おしべ。花粉を作る能力は無いのだそうです！！

オオバクロモジの冬芽。花芽と葉芽が別々に付いています。雌雄異株で両方とも見られます。雄花のおしべは花粉を作ります。

6月頃

12月下旬頃

右上の写真、あれ！実が付いている。花粉無しで実ができたのでしょうか！左の写真は去年12月下旬の様子です。すっかり熟して黒色になっています。1月下旬には、実の水分が抜けてしわしわになっているものが多く、付いている数が減っていました。

観察の森に点々とあるヤマコウバシの木。黒い実をもとに増え方を推理すると・・・「冬場に渡ってきて腹を減らしたヒヨドリが、目立つ黒色の実をついばみ、周辺に種子を散布。その結果、芽生えた幼木が点々と見られる」と推理できそうですが、そもそも花粉ができないのになぜ種子ができるの、種子は本当に芽生えるの、と疑問が。試しに実を50個ほど採取して、種子の中(胚)を調べたら何と全てが空っぽ。受粉しないから胚ができないならその通りなのですが・・・ではなぜ増えているのか。不思議は深まるばかり。目立たないヤマコウバシですがミステリアスな樹木ですね。(^^) 【レンジャー：菅原幸彦】



# 2月のイベント&お知らせ

◆「野鳥のレストラン」好評開催中！（3月末まで）

◆「ミツバチのヒミツ」

・研究者による生態や蜂蜜などのお話と蜜蝋シートを使ったキャンドル作りを体験して、ミツバチのことを楽しく学びます。

日時：2月13日（土）10:00～11:30

持ち物：飲み物、ウェットティッシュ

定員：小学生以上先着15名 2月6日（土）午前9時より電話で

◆「太白山自然工房 森の素材でフォトフレームづくり」

・森の中で採集した材料などを使ってフォトフレームを作ります。

日時：2月20日（土）10:00～11:30 費用：500円

定員：小学生以上先着15名 2月7日（日）午前9時より電話で

◆「野生動物の暮らしを探ろう&上映会」

・野外での野生動物の足跡などの痕跡観察と、室内にてセンサーカメラで定点撮影した映像の解説で野生動物の生態を知ります。

日時：2月27日（土）10:00～12:00

定員：15名〔先着〕 申込み：2月9日（火）午前9時より電話で

◆新型コロナウイルスの感染拡大や天候の急変等でイベント中止・短縮の場合があります。

毎週  
日曜は

## 『ガイドウォーク』の日！

2月は7、14、21、28日です。

開催時間：10:00～11:30

## 12月～3月のガイドウォークは 午前のみ開催です。

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

## 2月の休館日

1日（月）、8日（月）、  
15日（月）、22日（月）、

※月曜日が祝祭日の  
場合は火曜日が休館  
です。



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘庫行」乗車  
（※③のみ乗車可「太白団地 山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」）  
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、  
「森のおくりもの」バックナンバーは  
Webで！

2021年2月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東3-6-3

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>